

# 県南地域感染症情報 定期111号

～県南地域感染制御ネットワーク支援事業～

## つつが虫病に注意しましょう！！

県南地域では、例年、秋～初冬に患者発生のピークがあります。

### 1 つつが虫病ってどんな病気？

病原体（つつが虫病リケッチア）を保有するツツガムシ（ダニ）の幼虫に刺されることによって経皮感染する急性感染症です。 **ヒトからヒトには直接感染しません。**

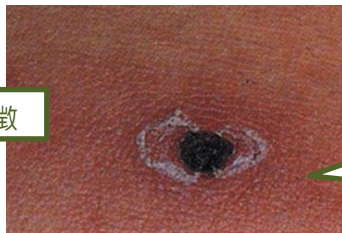
### 2 つつが虫の症状は？

●潜伏期：刺された後、5～14日前後

●症状：**発熱**（38～40℃）、**発疹**（発熱から3～5日後位）、**刺し口**、頭痛、倦怠感、肝機能障害、リンパ節の腫脹等

※治療には適切な抗菌薬の投与が必要です。治療が遅れると命に関わることもあるため、**できるだけ早く医療機関（内科、皮膚科など）を受診しましょう。**

刺し口の特徴



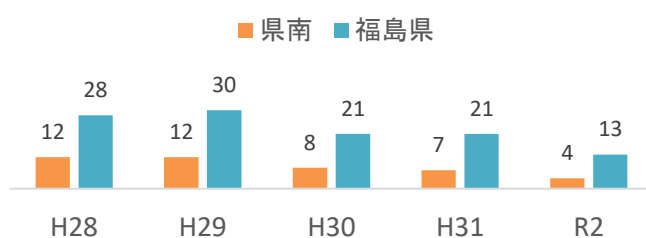
- ・皮膚の柔らかい隠れた部分に多い
- ・刺された部位がカサブタに変化
- ※刺し口はみつからないこともあります

### 3 つつが虫の発生状況は？

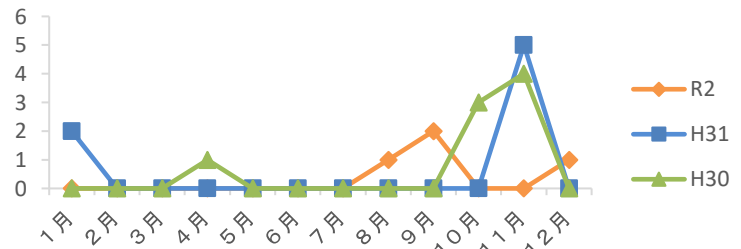
福島県は全国有数のつつが虫病の多発地域で、例年20～30名の患者が発生しています。県南保健所では、昨年は**4件**の報告がありました。

春～初夏（4～6月）と秋～初冬（10～12月）に患者発生のピークがあり、県内の様々な地域で患者が報告されています。

【福島県全体及び県南地域における報告数】



【県南保健所における月別発生状況】



### 4 つつが虫の予防方法は？

●山、草地に入る場合や農作業を行う場合は、**長袖、長ズボン、ゴム長靴、ゴム手袋**を着用し、肌の露出をできるだけ少なくしましょう。

●衣類を草むらに置いたり、草むらに直接座ったり、寝転んだり、用便をしたりしないようにしましょう。

●**虫よけスプレー**（ツツガムシの忌避を効能として認めているもの）を使用しましょう。

●作業後は、**入浴やシャワー**などで付着しているかもしれないツツガムシを洗い落としましょう。

●着用していた衣類は着替え、そのまま放置せず洗濯しましょう。

●屋外作業の5～14日後に発熱、リンパ節の腫脹、発疹が見られた場合には、早急に医療機関を受診しましょう。受診時には、山野に入ったことや「刺し口」があればそのことを主治医に伝えましょう。

発行日：令和3年10月22日

発行元：福島県県南保健所生活衛生部医療薬事課

FAX：0248-23-1252

Mail：kansen\_kennan@pref.fukushima.lg.jp